

8日 金曜

エゼキエル

14:12 次のような【主】のことばが私にあった。

14:13 「人の子よ。国が、わたしに対して罪あるものとなって信頼を裏切り、そのためわたしがその国に手を伸ばし、そのパンの蓄えをなくし、その国に飢饉を送り、人や家畜をそこから絶ち滅ぼすとき、

14:14 たとえ、そこにノアとダニエルとヨブの、これら三人の者がいても、彼らは自分たちの義によって自分たちのいのちを救い出すだけだ——【神】である主のことば——。

14:15 もし、その国にわたしが悪い獣を行き巡らせ、それを不毛にし、荒れ果てさせ、獣ゆえに通り過ぎる者もいなくなるなら、

14:16 たとえ、その中にこれら三人の者がいても——わたしは生きている。【神】である主のことば——彼らは決して自分の息子も娘も救い出すことはできない。ただ彼ら自身だけが救い出され、その地は荒れ果てる。

14:17 あるいは、わたしがその地の上に剣をもたらし、『剣よ、この地を行き巡れ』と言って、人や家畜をそこから絶ち滅ぼすとき、

14:18 たとえ、その地にこれら三人の者がいても——わたしは生きている。【神】である主のことば——彼らは決して自分の息子も娘も救い出すことはできない。ただ彼ら自身だけが救い出される。

14:19 あるいは、わたしがその地に疫病を送って、人や家畜をそこから絶ち滅ぼすために、流血をもってわたしの憤りをその地に注ぐとき、

14:20 たとえ、そこにノアとダニエルとヨブがいても——わたしは生きている。【神】で



ある主のことば——彼らは決して息子も娘も救い出すことはできない。彼らは自分たちの義によって自分たちのいのちを救い出すだけだ。」

14:21 まことに、【神】である主はこう言われる。「人や家畜を絶ち滅ぼすために、わたしが剣と飢饉と悪い獣と疫病の、四つのひどい刑罰をエルサレムに送るとき、

14:22 見よ。そこに逃れの者が残っていて、息子や娘たちを連れ出し、あなたがたのところにやって来る。あなたがたは彼らの生き方と行いを見て、わたしがエルサレムにもたらしただわざわいと、わたしがそこにもたらしただことすべてについて、慰めを受ける。

14:23 あなたがたは、彼らの生き方と行いを見て慰められる。このとき、あなたがたは、わたしがそこでしたすべてのことは、理由もなくしたのではないことを知る——【神】である主のことば。」

神様はイスラエルの反逆のゆえに、ききん、悪い獣、剣、疫病によって、彼らを断ち滅ぼすと言われます。彼らの多くは、自分たちの中にも信仰篤い者がいるので、神は滅ぼされまいと考える者がいるかもしれません。しかし主は「たとえ、そこにノアとダニエルとヨブがいても——わたしは生きている。【神】である主のことば——彼らは決して息子も娘も救い出すことはできない。彼らは自分たちの義によって自分たちのいのちを救い出すだけだ。」と仰せられます。

甘い考えは神のさばきの前には通用しないのです。それぞれ自分自身の信仰と従いが大切なのです。誰も主のさばきの前に立てる者はありません。

ただ、主イエスの十字架の贖いだけが、私たちを救います。旧約の人ではなく、神である主イエスだけが、その信仰（正しくは真実）のゆえに、

私たちがさばかれずにすむのです。

神のさばきの正しさと、自分の不従順の数々、そして主イエスの十字架の救いを思い、感謝しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

